

いながわ

議会だより

第 **124** 号

平成19年(2007年)8月9日

発行：猪名川町議会
編集：議会広報特別委員会

〒666-0292 兵庫県川辺郡
猪名川町上野字北畑11-1
TEL (072) 766-8710
FAX (072) 766-8882



～白金小学校 プール～

- 議案審議 ごみ収集車を購入 **2**
- 委員会の活動報告 開発地内道路の町への移管時期は **4**
- 一般質問 8人が町の考えを聞く **6**
- 特別功労者表彰を受賞 **11**
- こどもたちの声・編集後記 **12**





第335回定例会を6月22日から7月2日まで開会。専決処分2件、条例改正3件、動産購入1件、請負契約1件、町道認定1件、議員提出議案3件が上程され、いずれも可決・承認された。また、繰越計算書など6件の報告があった。

ごみ収集車を 購入!



(町内を回るごみ収集車)

4トン積 ごみ収集車
購入価格 819万円
(全会一致で可決)

予防接種健康被害調査委員会設置条例の一部改正
結核予防法の廃止に伴い、関係条文を変更するため条例を改正

条例改正

町税条例の一部改正 (賛成14・反対3で承認)
都市計画税条例の一部改正 (全会一致で承認)

専決処分

消防団員等の公務災害補償条例の一部改正
損害補償の基準を定める政令が改正されたため条例を改正

請負契約

火災予防条例の一部改正
関連法令等の改正に伴い、引用条項に変更が生じたため条例を改正

町道木間生旭ヶ丘線(19-1工区)道路改良工事
契約金額 6510万円
履行期間 着工 19年6月27日
完成 20年3月21日
(全会一致で可決)

委員会への付託議案

本会議でこう決まりました

議案名	審議結果	付託委員会
・消防団員等公務災害補償条例の一部改正 ・火災予防条例の一部改正	可決 (全会一致)	総務企画 常任委員会
・町道路線の認定	可決 (賛成14・反対2・ 欠席1)	建設環境 常任委員会
・予防接種健康被害調査委員会設置条例の一部改正	可決 (全会一致)	文教厚生 常任委員会

ひとくちメモ
「専決処分」
議会在が成立しないときや議事を招集する時間的余裕がないことが明らかであると認めるときなどに、地方自治法の規定により町長が議事に代わって議決すべき事件を処分すること。
この場合は、町長は次の議会において報告し、承認を求めなければならない。

受理した請願

請願2件を審査
第335回定例会では、継続審査中の2件について審査の結果、次のとおり決しました。

リハビリテーション打ち切りの調査と改善のため政府への意見書提出を求める請願
◎請願者 兵庫県保険医協会 北阪神支部

療養病床の廃止・削減計画を中止するため政府への意見書提出を求める請願
◎請願者 兵庫県保険医協会 北阪神支部
◎付託委員会 文教厚生常任委員会

◎結果
本会議で「不採択」
(賛成3・反対13・欠席1で不採択)

◎結果
本会議で「不採択」
(賛成2・反対14・欠席1で不採択)

議員提出議案 政務調査費に領収書添付を義務付け

政務調査費の収支報告書に、領収書等の添付を義務付けるよう議会政務調査費の交付に関する条例の一部を改正しました。
町議会では、これまでも自主的に領収書等の添付を行っていましたが、条例化することで、政務調査費の用途を一層透明化します。
また、昨年の地方自治法の一部改正等に伴い、議会会議規則、議会委員会条例の一部を改正しました。

委員会の活動報告

総務企画

6月25日、委員会を開会。消防団員等公務災害補償条例の一部改正についてなど、付託2議案を審査。
(いずれも全会一致で可決)



建設環境

開発地内道路の町への移管時期は

6月26日、委員会を開会。付託議案を審査。

町道路線の認定について

つつじが丘地内及び若葉地内の住宅開発に伴い、町に移管される道路及びその他の生活道路について、町道認定基準に基づき路線の認定を行うもの。

審査に先立ち、現地調査を実施した。

Q 住宅開発地の町道認定はどの時点でしているのか。

A 開発に伴う町道認定については、都市計画法に規定するもののほか、土地開発事業指導要綱に基づき、開発が済めば速やかに移管することとしている。在来地域については、各自治会の要望を町道路審査会に諮り提案している。

Q 開発地での移管はいつ

ごろするのか。

A 法手続のなかで完了検査などがあり、それらの手続きが済んだ時点である。

Q 町道の総延長は。また、県などの補助は。

A 現在958路線で延長は263kmである。

費用については、地方道路譲与税として、3350万円を今年度予算に計上している。地方交付税の基準

財政需要額への算入については、道路の延長と面積を基礎として算定されている。

Q 町道認定の道路に対して町として整備に費用をかける所と、地域に任せる所があるが、基準は。

A 幹線等の路線は不特定多数が利用するので、町で維持管理をしている。生活道路は、地域の協力を得て

いる。

Q 用地の整理についてはどのようにしているのか。

A 道路として使用するため、用地をすでに取得しているもの、計画があるものについて、道路認定基準を満たしているものであれば認定を行うこととしている。
(全会一致で可決)

上下水道事業経営健全化対策について調査
笹尾浄水場を現地視察。



路線の説明を受ける委員（つつじが丘）



中央管理所監視室（笹尾）

結核予防法の 廃止に伴う改正

6月27日、委員会を開会。付託1議案と請願2件を審査。

予接種健康被害調査委員会設置条例の一部改正について

Q 結核予防法が19年3月31日に廃止となっているが、対応として専決などの手立てもあったと考えるが、問題は無いのか。

A 改正の趣旨は、根拠となる法令がなくなったのではなく、その精神はいきている。条項の整理をしていくのが望ましいが、直接的に影響はないため、今回の改正案とした。

Q 委員の構成が医師会医師3人と別に専門医2名が分けてあるが、別にする必要はあるのか。

A 結核予防法が廃止となったが、予接種後の被害調査を行うにあたって、被害をあらゆる角度からみられる医師である。

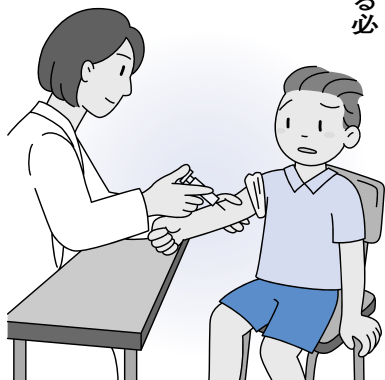
(全会一致で可決)

リハビリテーション打ち切りの調査と改善のため政府への意見書提出を求める請願について

(賛成1・反対4で不採択)

療養病床の廃止・削減計画を中止するため政府への意見書提出を求める請願について

(賛成1・反対4で不採択)



あなたも議会・委員会を 傍聴しませんか

議会では、身近な問題等を議論しています。まちづくりを一緒に考えてみませんか。傍聴の手続きは簡単で、当日、事務局で受付簿に住所・氏名を記入していただくだけで傍聴できます。(本会議20名、委員会10名まで)



7月1日
日曜議会を開会

平日は通学や仕事などで傍聴に來れない人など、より多くの人に議会を傍聴していただくため、7月1日に「日曜議会」を開会しました。

6回目の開催となる今回は21人の方が傍聴に來られました。この日は、8人の議員が一般質問を行い、身近な課題について質問しました。

(詳細は6〜10ページ)



議会事務局で受付をする傍聴者

一般質問

こじが聞きたる



8人が町の考えを問う

定例会第2日（7月1日）に8人の議員が町政全般にわたって質問しました。

質問（Q）と答弁（A）の要旨を掲載しています。
質問項目は下記のとおりです。

時崎 巖 議員

- ・改正介護保険法小規模多機能型居宅サービスについて
- ・個人情報の保護について
- ・長期欠席児童・生徒の現状と対応について

福井昌司 議員

- ・ふるさと再生について問う

福田長治 議員

- ・新名神高速道路に伴うまちづくりについて

池上哲男 議員

- ・乳幼児医療費町独自助成の充実を
- ・資源ゴミ集団回収団体への報償金は引き下げるべきではない
- ・木間生旭ヶ丘線に関連する県道拡幅は県の仕事、町費を出すべきではない

新賀 保 議員

- ・「リサイクルネット」の構築を！
- ・住民の心をつなぐ“ふれあいうどん”

尾川悦子 議員

- ・人材育成と活用システムについて
- ・つつじが丘地区内大型複合施設建設に係る課題について

南 初男 議員

- ・安全、安心で勢いのある町を

福井澄榮 議員

- ・大型スーパーで納税や住民票が取れるように
- ・各学校の図書室の充実を
- ・役場3階を全面禁煙に



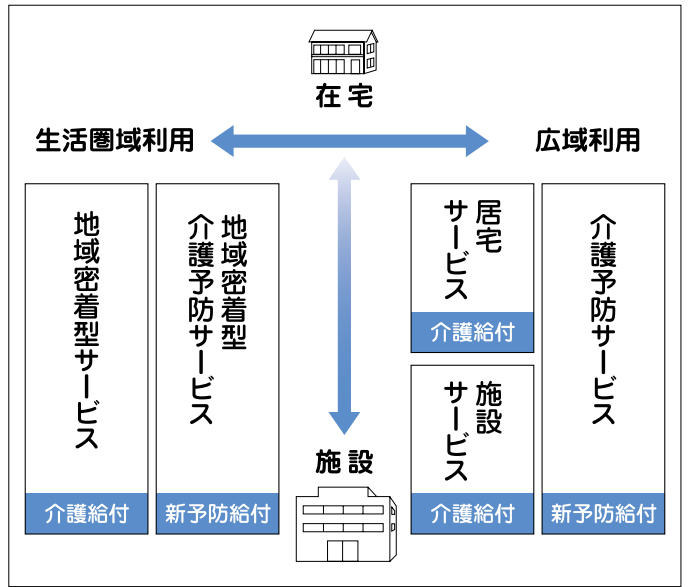
時崎 巖議員

Q 地域密着型小規模多機能型居宅介護は

A 町独自の基準を定め公募指定を行う

問 長期景気回復が言われているが国民の多くはそれを実感できていない。そのような中で、今回行われた診療報酬の改定・医療制度改革・介護報酬・介護保険制度の見直しが医療難民・介護難民を生み出し、加えて高齢者の生活の基軸である年金問題、介護問題が多額の混乱をひき起し、とりわけ高齢者にとっては大きな不安となっている。そこで、今回の見直しで新しく加えられた「地域密着型小規模多機能型居宅介

護」はどのようなものか。
生活部長 今回の介護保険制度の見直しについて、地域密着型小規模多機能型居宅介護は、高齢者が住み慣れた地域で住みつづけることを支援するために、その必要性は認識している。現在、すでに設置している運営委員会において、町独自の基準を定め、協議を進めている。結論を得た段階で、速やかに公募、指定申請の受付を行っていく。



介護保険サービスのしくみ



第四次総合計画後期基本計画



福井 昌司議員

Q ふるさと再生の道標は

A 第五次総合計画で明らかにしていく

問 我が町再生の道標は。
総務部長 投資的事業であるハード整備は概ね完了した。今後はソフト事業を中心にまちづくりを進めたい。地方分権改革推進法により中央から地方へ権限が移る中、行政主導から住民主体のまちづくりに取り組ん

でいる。22年度策定の第五次総合計画で道標を示す。
問 都市計画の見地からの考察は。
建設部長 土地利用計画と人口フレームは表裏一体で、集合住宅から戸建住宅への傾向がある中、用途地域等都市計画の見直しが必要になってくる。都市計画マスタープラン、第五次総合計画、その他の基本計画の整合を図り軌道修正していく。
問 農林業の再生は。
建設部長 道の駅いながわを核として地産地消を図り、需要拡大と生産性の向上に努めている。
 経営所得安定策で、地元産農産物の特徴を活かした栽培や小規模農家の振興を図ると共に、団塊世代の新たな農林業の担い手としての育成等、地域農業を支援活性化させていきたい。



福田 長治議員

Q 新名神高速道路に伴うまちづくりは
A 未来のまちづくりに夢と利便性の向上

問 第二名神自動車道路と言っていたが名称が変わったのか。

建設部長 19年4月に西日本高速道路より「新名神高速自動車道路」と変更すると連絡があった。

問 今の状況では、いつ頃完成するのか。

建設部長 予定では30年頃である。

問 この道路は本町を大きく変革すると思うが、通過地域の犠牲のうえに成り立つ事業である。

本町にとってのメリットと今後のまちづくりをどう



建設予定地に立つ看板（広根地内）

描こうとしているのか。

建設部長 町にとってはインターに近く利便性の向上につながり、多面的土地利用の起爆剤になる。

総務部長 アクセス道路等の整備が進むと優良企業の誘致や、民間サービスの発展など、夢や期待がもてる。

問 今後は沿道サービスの店舗が増加していくと思われが農地との競合は。

建設部長 沿道サービスの増加は地域活性化の要因と受けとめている。今後も適切な誘導並びに指導に努めていく。



元気に部活動に励む中学生

生活部長 4市2町は県の制度通り。その他の市町では独自の助成を行っている。県に対しても更なる拡充を要望していく。

問 資源ごみ集団回収報償金の引き下げを検討することだが、各団体の大きな財源になっている。また、これらの団体の努力があるから住民もリサイクルに協力しており、この5年・10年の積み重ねが他市町に誇れる完成度の高い本町の分別・リサイクルを築いている。この関係は崩れるのは早い。報償金を下げるべきでない。

生活部長 行政が行う回収量の3倍を集団回収で行っているが、アルミ缶や古紙の商品価値が出てきている。他市町も順次引き下げている中、現行の金額が良いのか検討する時期がきており、来年度に向け方向付けを行いたい。



池上 哲男議員

Q 乳幼児医療費助成の更なる拡充を
A 県に対しても更なる拡充を要望したい

問 乳幼児医療費助成について、県下でいくつかの自治体は県の基準以上の助成を行っている。本町でも所得制限の撤廃・3歳未満は無料としているが、少子化の中、中学卒業までなど、更なる拡充をすべき。

生活部長 4市2町は県の制度通り。その他の市町では独自の助成を行っている。県に対しても更なる拡充を要望していく。

問 資源ごみ集団回収報償金の引き下げを検討することだが、各団体の大きな財源になっている。また、これらの団体の努力があるから住民もリサイクルに協力しており、この5年・10年の積み重ねが他市町に誇れる完成度の高い本町の分別・リサイクルを築いている。この関係は崩れるのは早い。報償金を下げるべきでない。

Q リサイクルネットの構築を

A 広域的に効果の高い取り組みをする



新賀 保議員

問 循環型社会形成のための取り組みとして、住民に対する効果的な普及啓発・情報発信の方法等についてより一層の充実をはかる必要がある。21年春には一市三町で建設中のごみ処理施設が完成し、リサイクルプラザも併設されるが、モデルケースとして、本町のホームページなどを活用し住民が簡単にリサイクル情報を入手するためのシステムを構築する考えは。

生活部長 ネット上の市場を設けるという考え方で、行政が取り組むのも効果が大きいと思うが、一市三町で広域的に、より効果の大きい形で実施していく中で本町がやるべきことがあれば積極的に実施する。

町のホームページ



問 住民とのコミュニティづくりの具体策として「ふれあいうどん」作りを広める方法があると思うが。

総務部長 地域担当職員が中心となり、各小学校区ごとでまちづくり協議会を結成し、各地域の特色を活かした「ふれあいうどん」の手法も取り入れながら地域コミュニティの醸成を図っていききたい。

Q 「つつじが丘」バス停に停車帯の設置を

A 複合施設建設を機に県に要望する



尾川 悦子議員



バス停留所 つつじが丘（日生方面行き）

問 つつじが丘は町の南玄関にあたる住宅地であり、計画されている大型複合施設建設に係る交通や防犯の課題については、町全体に関わる問題でもある。

建設部長 店舗等の影響から渋滞になる可能性もあるため、これを機に県に設置を要望していく。

問 つつじが丘に交番の設置を要望するが考えは。

総務部長 交番の新設は困難と聞いているが、再度、

問 つつじが丘は町の南玄関にあたる住宅地であり、計画されている大型複合施設建設に係る交通や防犯の課題については、町全体に関わる問題でもある。

建設部長 店舗等の影響から渋滞になる可能性もあるため、これを機に県に設置を要望していく。

問 つつじが丘に交番の設置を要望するが考えは。

総務部長 交番の新設は困難と聞いているが、再度、

問 川西警察に要望していく。

問 町は今年度、コミュニティ課や「生きがいづくり室・健康づくり室」などを新設し、福祉や地域コミュニティの推進に取り組まれているが、それらに関わる人材の育成やボランティア情報の提供など、住民ニーズへの対応は。

総務部長 ボランティアに関する情報は、多岐にわたっており、住民からの問い合わせに際して的確に対応できないこともあるため、窓口の統一について関係課と調整していく。



南 初男議員

Q 安全、安心で勢いのある町を

A 本町の役割を果たし積極的に取り組む

問 安全、安心でいつまでも住み続けたいまち猪名川町。国民の命・子どもの未来の安全・暮らしの安心・経済と平和への責任・勢いのある国づくりを公明党はめざしている。命を守る責任の中で、ドクターヘリの全国配備推進に対し、県及び町の対応は。死亡原因の第一位はがん、男女とも二、三人に一人がかかり、国民病とも言われている。日本はがん治療の先進国という立場からの情報収集、提供体制は。

生活部長 消防防災ヘリは



兵庫県の消防防災ヘリコプター

県で1機、神戸市で2機を活用、ドクターヘリは救急医療体制につながるのに県に働きかける。がん治療体制は兵庫県がん対策推進計画の策定に取り組んでいる。

問 異常気象による天災に対する整備が必要と思うが特に本町は南北に長く伝達等の対応は。

総務部長 柏梨田・笹尾・

島の3カ所の河川水位、つじが丘・紫合・槻並・笹尾・鎌倉の5カ所の雨量の気象情報をひょうご防災ネットにより情報伝達を行っている。



木の温もりを感じる図書室（大島小学校）



福井 澄栄議員

Q 大型店舗に年中無休の役場出張所を

A 今後の検討課題とする

問 町内の大型店舗に納税や住民票が正月を除いて年中無休で取り扱える出張所を設置することが、より住民サービスになるが。

生活部長 行政サービスの

拡大は今後の検討課題とする。

問 各学校の図書室の充実を。国から各学校の図書充実のための交付金は全額使われているか。また図書室の天井、壁、床材を兵庫県産の木材で改修することで大島小学校の子どもたちと平等になるが。

教育部長 19年は国からの540万円より多い580万円を予算計上している。図書室改修は計画的に取り組む。

問 役場3階も全面禁煙に。町内全公共施設は禁煙のはずだが庁舎3階で喫煙している議員がいる。子ども議会もあり禁煙にするべきだ。全国で火災原因の第2位がタバコの不始末で受動喫煙の害もあるがどうか。

生活部長 15年健康増進法により施設の管理者に対して喫煙の正しいあり方を啓発している。

県町議会議長会より
自治功労者表彰を受賞



福本 典子議員

5月28日に開催された県町議会議長会総会において、永年にわたる功績に対し、町議会議員20年以上の在職功労者として表彰されました。昭和62年に初当選以来、20年の永きにわたる在職功労者として、その議員活動等功績が認められたものです。



下坊 辰雄議員

全国町村議会議長会より
特別功労者表彰を受賞



山口 昌議員

5月28日に開催された県町議会議長会総会において、永年にわたる功績に対し、特別功労者として表彰されました。昭和60年に初当選以来、住民福祉の向上、生活環境の整備等、町政発展のため尽力されました。その間、町議会議長、議会運営委員長を務めるなど、地方自治の発展に寄与した功績が認められたものです。

お知らせ

議長交際費の閲覧

閲覧内容は、支払日、支払目的、金額などで、相手先については原則公開ですが個人情報を含む場合は非公開となります。

4月分以降を3カ月毎にまとめ、最終月の翌月末に閲覧できます。

閲覧を希望される方は、議会事務局で閲覧受付簿に必要事項を記入していただければ閲覧できます。

定例会の日程(予定)

※9月定例会 8月28日～9月6日

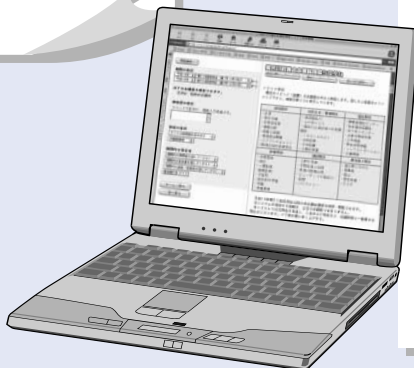
※12月定例会 12月11日～25日

※3月定例会 19年2月25日～3月26日

議事の都合により変更することがあります。日程については、ホームページでもご覧いただけます。

会議録の閲覧

本会議・委員会の会議録は、役場議会事務局・図書館・日生連絡所・六瀬連絡所でご覧いただけます。また、ホームページからも一部の会議録をご覧になれます。



●お問い合わせは議会事務局へ
 (☎766-8710)

7月7日・8日
あじさいまつり



初夏の風物詩となった
大野山の美しいあじさい

— 大野アルプスランド(柏原) —

こどもたちの声

俳句を作ろう

中谷中学校三年

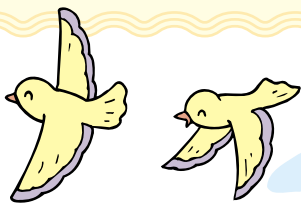
秋山の 風吹き渡り 一人かな
 タンポポの わたが飛びかふ 風の中
 夕暮れを 群れで眺める 赤とんぼ
 蝶が舞い とまって揺らし 花起こす
 漣と 夕日が織り成す 蜃気楼
 母の日の 輝くスマイル 宝物
 さよならと 伝え散りゆく 紅葉かな
 梅雨の夜 一本傘で 父を待つ

川端 隆
 手島 瑠唯
 森脇 里絵
 下尾 美咲
 佐尾山一馬
 樋野真愉美
 松本 彩
 依藤 美樹

ヒロシマの思いを短歌に

松尾台小学校六年

ヒロシマは 一瞬にして 焼け野原
 世界に届け 子供達の声 上久 葵
 戦争は なくさなくては ならぬこと
 人の命を 大切にせよ 丸谷 祐輔
 ヒロシマが 教えてくれた この気持ち
 忘れないこと 心に誓う 秋山 昂太
 燃える空 溶けゆくからだ 母と子の
 抱き合う姿に 戦争を憎む 屋代崎那奈美



編集後記

「ハンカチ王子」にハニカミ王子」彼らの行くところ、熱気と笑顔が溢れている。どちらも10代の若さでありながら、あの冷静ささわやかさ、そして礼儀正しさは周りの気持ちを和ませてくれます。私たちは彼らの時代には戻りませんが、心はいつも青春まっただ中でありたいものです。さて、今号で、現在の広報メンバーでの編集は最後となりました。これまでのご愛読に感謝し、より充実した「議会だより」をめざし次号へと引き継ぎます。

